

保安、人並みの労働条件確立を

組織の命運かけて政策闘争へ 《炭労大会で意志統一》



保安確保と人並みの労働条件を確保するために、組織の命運をかけてたたかうことを決めた炭労大会。

大会終了後の十一日、炭労は各社に対して要求書を提出、十七日に拡大中央闘争委員会を開いて本格的な交渉に入ります。

五月十七日に起こったガス爆発層南風道付近で自然発火が発生したため、緊急退避指令によって層南風道付近のガス爆発発生箇所が再開されたばかりの三層南風道張炭鉱で、七月二日午前〇時二十五分ごろ、南一御七片下

炭労の第一〇八回定期大会は九日十日の二日間、国内石炭産業の浮沈をかけた第八次石炭政策についての諮問を目前にして、組合と家族そして産炭地住民が注目するなかで開かれ、重大災害統廃の状況下での保安闘争方針、秋季、年末闘争、第八次石炭政策闘争、さらに上期期末手当五十万円の要求と闘争方針を決定して終わりました。

炭労の第一〇八回定期大会は、一般経かい、諸闘争三種集約、各種平和過報告、闘争経過報告、会計報告、闘争の推進、規約・規程の一部改訂、昭和六十年年度予算、諸闘争力発の状況下における保安闘争の強化に関する方針、八五上期期末手当闘争方針および年間臨給制度への態度、八五年秋季・年末闘争方針、第八次石炭政策確立のため

五月十七日に起こったガス爆発層南風道付近で自然発火が発生したため、緊急退避指令によって層南風道付近のガス爆発発生箇所が再開されたばかりの三層南風道張炭鉱で、七月二日午前〇時二十五分ごろ、南一御七片下

炭労の第一〇八回定期大会は、一般経かい、諸闘争三種集約、各種平和過報告、闘争経過報告、会計報告、闘争の推進、規約・規程の一部改訂、昭和六十年年度予算、諸闘争力発の状況下における保安闘争の強化に関する方針、八五上期期末手当闘争方針および年間臨給制度への態度、八五年秋季・年末闘争方針、第八次石炭政策確立のため

一時金、五十万円を要求

十七日中間招集、本格交渉へ

炭労の第一〇八回定期大会は九日十日の二日間、国内石炭産業の浮沈をかけた第八次石炭政策についての諮問を目前にして、組合と家族そして産炭地住民が注目するなかで開かれ、重大災害統廃の状況下での保安闘争方針、秋季、年末闘争、第八次石炭政策闘争、さらに上期期末手当五十万円の要求と闘争方針を決定して終わりました。

当面する 期末手当闘争

炭労の第一〇八回定期大会は、一般経かい、諸闘争三種集約、各種平和過報告、闘争経過報告、会計報告、闘争の推進、規約・規程の一部改訂、昭和六十年年度予算、諸闘争力発の状況下における保安闘争の強化に関する方針、八五上期期末手当闘争方針および年間臨給制度への態度、八五年秋季・年末闘争方針、第八次石炭政策確立のため

生活守る一時金

炭労の第一〇八回定期大会は、一般経かい、諸闘争三種集約、各種平和過報告、闘争経過報告、会計報告、闘争の推進、規約・規程の一部改訂、昭和六十年年度予算、諸闘争力発の状況下における保安闘争の強化に関する方針、八五上期期末手当闘争方針および年間臨給制度への態度、八五年秋季・年末闘争方針、第八次石炭政策確立のため

11.9裁判「和解問題」で「声明」と「態度」を発表

炭労の第一〇八回定期大会は、一般経かい、諸闘争三種集約、各種平和過報告、闘争経過報告、会計報告、闘争の推進、規約・規程の一部改訂、昭和六十年年度予算、諸闘争力発の状況下における保安闘争の強化に関する方針、八五上期期末手当闘争方針および年間臨給制度への態度、八五年秋季・年末闘争方針、第八次石炭政策確立のため

改善申し入れ 執行部点検で

炭労の第一〇八回定期大会は、一般経かい、諸闘争三種集約、各種平和過報告、闘争経過報告、会計報告、闘争の推進、規約・規程の一部改訂、昭和六十年年度予算、諸闘争力発の状況下における保安闘争の強化に関する方針、八五上期期末手当闘争方針および年間臨給制度への態度、八五年秋季・年末闘争方針、第八次石炭政策確立のため

南大夕張砒で自然発火

一部操業再開したばかり

五月十七日に起こったガス爆発層南風道付近で自然発火が発生したため、緊急退避指令によって層南風道付近のガス爆発発生箇所が再開されたばかりの三層南風道張炭鉱で、七月二日午前〇時二十五分ごろ、南一御七片下

炭労の第一〇八回定期大会は、一般経かい、諸闘争三種集約、各種平和過報告、闘争経過報告、会計報告、闘争の推進、規約・規程の一部改訂、昭和六十年年度予算、諸闘争力発の状況下における保安闘争の強化に関する方針、八五上期期末手当闘争方針および年間臨給制度への態度、八五年秋季・年末闘争方針、第八次石炭政策確立のため



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033-4
編集兼入 杉本一男
半年間 1,200円 送料共
振替口座番号
労金大牟田
0968946-005

公判のお知らせ
11.9 三池大災害裁判公判
七月二十九日午後一時から、福岡地方裁判所(58回)
9.28 坑内火災裁判公判
十月三日午前十一時から、福岡地方裁判所。(48回)

炭労第108回定期大会スローガン
あいつの大災害に強く抗議し、職場を原点とした保安闘争を強めよう。
すべての現職炭鉱を存続させるため組織の命運をかけて、第八次石炭政策闘争をたたかおう。
期末手当要求および退職手当をはじめとする秋闘要求獲得のため、断固たたかおう。

総会日程
七月二十六日 委員会
行動方針、予・決算提案
八月十二日 委員会
大衆討議集約
八月二十五日 定期総会

地底
雨明け宣言。土用大嘗と夏本番へまっしぐら。なによりも真っ先に温った家中、どこもかしこも風を運ぶねばならぬ。家族が協力して部屋、押し入れ、衣類、くしの整理を。ついでに心にも風を通そう。
▼欧米のパカンスは四週間。わが国の労働者の夏休みは平均五・七日、二・三日の家族旅行、予算は平均約十万円という平均値だが、せせと益休みに働く人もいる。この欧米との差が労働災害、職業病の増加、自殺激増、八人に一人が病気という心身の健康破壊に。夏休みを休もうと現実と抵抗してはいるがかな。
▼毎日新聞社の世論調査によると、生活に満足している人は一昨年の五五%を底に、最悪の上昇で持ち直して六二%になったとか。問題の、中流意識は昨年に続き二年連続で落ち込み、一昨年の七二%が今回は六七%に低下した。
中流意識を支える主役はホワイトカラー層の大幅低下が目立ち、崩壊過程にあることは確か。
▼被爆・敗戦四十周年。広島・長崎への原爆投下と日本軍国主義の降伏から四十年目の夏を迎えて平和行進がすすむ。いまだに戦争の傷跡が残っている日本の現実とともに、当時三発しかなかった原爆が五万発も蓄積され、宇宙にまでその戦略が広がっていることに慄然とさせられる。戦争の語り部が奮起する夏でもある。
▼一御で発生した坑内火災は蓄熱したもので、臭いやCOが少し検出されていたが、ガス爆発現場近くのため気付かなかった」とは、南大夕張砒の坑内火災で会社幹部の弁明。コンピュータの集中管理といってもこの程度のもとは驚きだが、人の配置、保安体制の、甘き加減をあらためて露呈した。